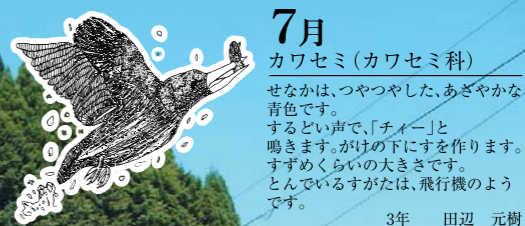


帝釈小学校わかくさ児童会愛鳥カレンダー



7月
 カワセミ(カワセミ科)
 せなかは、つやつやした、あざやかな青色です。
 するとい声で、「チイー」と鳴きます。がけの下にすを作ります。すずめくわいの大ききです。とんでいるすがたは、飛行機のようにです。
 3年 田辺 元樹



人物紹介 Vol.37



伊藤ヒロエさん(80歳)
 昭和3年4月2日生まれ

神石高原町永野に7人兄弟の5女として生まれました。長女は95歳で上下町小塚に在住、長男は戦死、次女と4女は病死、3女は90歳、6女は73歳で共に福山在住です。

13歳で県立上下高等学校へ入学し寮に入って通学していました。4年生の二期から学徒動員で呉の海軍工廠に入り、寮から工場へ呉駅前を通り、呉港のドックに戦艦大和が修繕のために入っていたのをみながら毎日通勤していました。海軍工廠では適正検査で設計部に配属され、少しでも早

山陽新聞「ふるさとよ」に
 ながの村掲載

6月24日の山陽新聞のトップ記事に「ふるさとよ」第3章地域へつなぐ第2部よみがえるムラ②山里の運動会と題して、自治組織活動で地域に変化 という見出しでながの村が掲載されました。



2008年(平成20年)6月24日 火曜日

山陽新聞

ふるさとよ

第3章 地域へつなぐ
 第2部 よみがえるムラ
 ②山里の運動会

自治組織活動で地区に変化

内容には、国定公園帝釈峡にほど近い広島県東部の中国山地にある神石高原町永野地区(人口241人)高齢化率45.6%の過疎の山里で、今月1日、27回目となる大運動会が開かれた。幼児から80代のお年寄りまで地区住民の半数以上が田植えの後の休日を楽しんだ。「とめどなく過疎化が進む不安が大きかった。住民も行政も危機感を一つにした」とながの村自治振興会長の宮野元壮さん

「最近手伝って、ふるさとよ」に掲載された。中国地方の集落維持に努める若者が、ふるさとよ」に掲載された。中国地方の集落維持に努める若者が、ふるさとよ」に掲載された。

く写図をしたかったのに数字の書き方を一週間いやになるほど練習しました。そしてクロスに写図をし、縮小や拡大図もしました。一人ずつT字型と三角定規がおいでありました。

白鉢巻きで軍隊が通るとき、「歩調をとれ 頭 右」という訓練を4列縦隊で何度もしました。「欲しがりません、勝つまでは」の教育でしたのでたとえ着る服がボロ着でも慣れていました。

呉がB29に空爆されてのち、8月15日にラジオの前にもんなに集合がかかって「朕はなんじらを思う…」と天皇陛下のありがたい言葉があり、戦争はこれで終わり、負けたんだ。と友達同志で抱き合ってた。昭和29年9月に呉から上下駅を通って永野に帰ってきました。

60歳過ぎていた父母の農作業を手伝った。お米、麦、こんにやくをつくり和牛が2頭いました。父が亡くなった翌年に結婚し、主人は相違出身で農閑期には町役場に臨時職員として勤めていたこともあり。子供は3人に恵まれ長女は東京

にいて大学生、高校生の孫がおります。家族4人で夏休みに帰郷してくれるのが楽しみです。次女は福山に三女は同居していて町内の小学校に調理士として勤めています。

父が早くに亡くなったので随分と苦労しました。かけがえのないたった一つの命ですから大切にしたい、悔いのない人生を送りたいし、自分のまわりや地域の人も大切にしたい、仲良く、おだやかな人間関係で過ごしたいと思えます。

広島市比治山大学生が
 ながの村現地調査
 比治山大で村長講義

6月28日地域文化政策学科専門科目「地域福祉論」の現地調査を指導の山田知子准教授と共に2年生25名が大型バスでやってきました。これに先立ち6月25日に事前レクチャーとして、土屋村長が比治山大学に行き学生にながの村の自治活動全般を説明しました。

学生たちは施設を見学し、昼食兼ヒアリング作戦タイ

ムと休む間もなく、グループに分かれて6名のながの村役員、宮野元壮さん、伊藤尹さん、赤木太朗さん、横山安津子さん、見永豊子さん、土屋村長にヒアリングしました。

学生の木谷洋美さん、松山愛理さんは「最初は緊張していたが、ながの村のみなさんがやさしくて、いい人ばかりでこちらの質問の意味を充分にみ取っていただいたのでよかったです。ながの村の取組みは、初めは辛いこともたくさんあったが、今は方向性が出て良かったです。中国人研修生を迎えて、マスコミの取材があり、テレビ・新聞等に出たし、村の人に面白い変化が生じたことは凄いいことですね。」とのコメントでした。

これら、学生達のレポートが届くのが楽しみです。永野長寿会の伊藤尹会長は「ながの村には75歳以上が61名いる状況で長寿会は人と人の出会いをより多くし、困っている人に手を差し伸べる活動や、最近では絵手紙の感心が高まり、交

通機関が不便な地域で、家にこもりがちになりやすい高齢者にも活動の機会を提供しています」と言われていました。



短歌

てみんさいや心がなごむで
それから花面公園のあじ
さいもけつこう咲いとるで
永野小町探検隊

◆永野村の運動会に初デビュー
よちよち歩きの天使かわゆき
◆さみどりの若葉を透きてさす陽光
山のなだりにほととぎす鳴く
宮野滋子

◆巣箱かけ 永野で巣立った
◆それぞれの田畑や山に
仏法僧 地名がありき
帰って来たか 地積調査で
ゲツゲツと鳴いて 消されて侘し
田辺 明

ちょっと立ち話



第二話

あのなあ
今年も蛍が飛び交う季節になったんよ
一ツ橋から洞面、市場から花面公園、稲月など行っ

琳さんが来て下さいました。毎年思うんだけど、中国のかたは、せがが高いです。これは何か秘密があるのかなと思います。中国の人は、不思議がいっぱいです。中国の方は私たちのために、「富士山」を日本語で歌って下さいました。たくさん練習をしたと思います。



みんなバラバラにならずにとても上手に歌って下さ

NPO地域支援センター ほんわかよりお礼状

いつもお世話になっております。先日は大運動会にお招きいただき、ほんとうにありがとうございました。親睦を大切にされた、お

いました。私は感動しました。ここまで上手に歌って下さったので、私たちも、もつと中国の歌を聞かせてあげたいなと思いました。
そして、給食の時六年生は、李さんと郑さんは、給食がおいしいと言っておられました。私は少しうれしかったです。中国の方が、日本の料理をおいしいと言っておられるのを初めて聞いたからです。
昼休けいは、六年生みんなと李さんと、郑さんといっしょにバレーボールをしました。

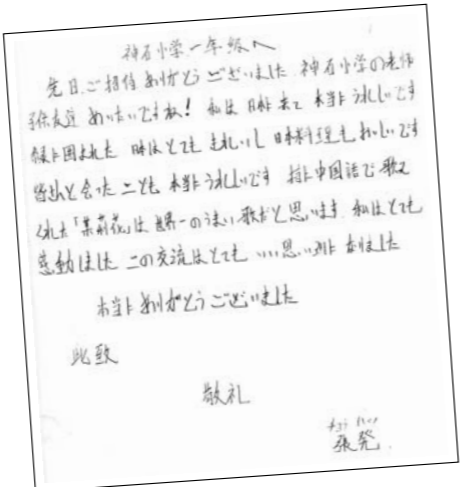
私たち白組は、郑さんとしました。郑さんは、ボールを打つ力がすごく強いので、中国の方は力も強いのかと思います。郑さんはバスケットの方も行っていただけ、バスケットがすごい上手です。郑さんは、何でもできるんだなと思います。

そしてお別れの時になって思いました。今年の交流会は、すごく楽しかったのでもたいたっしょに遊べたらいいなと。こんど会える日まで楽しみにまっています。

互いの顔が見えるあったかい運営内容で、運動会の原点だなと思いました。土屋さんをはじめ、役員や地域のみなさんがさまざまな場面で心配りをされ、準備やかたづけも大変だったと思います。

競技も楽しかったのですが、テントの中での4世代交流の様子をみせていただいたり、いろいろお話しさせていただいたりとお話した1日となりました。
帰りには見永さんのお宅でふくろうの巣立ちを見させていただきました。ありがとうございました。みんな初めての体験で感動していました。あれから無事親ふくろうと一緒に山に戻れたのでしようか？...見永さんはふくろうとの別れはつらかったと思います。ふくろうに向ければほんとうにやさしく心を打ちました。おいしいお食事までごちそうになりました。ありがとうございます。
見永さん、ながの村のみなさんにもよろしくお伝え下さい。またお会いできるのを楽しみにしております。子ども達が心を込めて絵

●中国人研修生よりお礼のお手紙



広島巨木の会 加納さんよりお便り



を描きました。ご覧になって下さい。
7月のコンサートにむけお忙しいとは思いますがお体ご自愛下さい。イベントが大成功に終わられることをお祈りしております。
2008年6月9日
NPO地域生活支援センター
ほんわか 客本牧子

中国人研修生との交流会 神石小学校児童 お礼の言葉

『中国人の方との交流会』今日の四時間目に中国の方との交流会がありました。6年生には李新江さんと郑

さぎんかの会 No.9
我が家の一品!!
一品料理の受付は
FAX 0847-86-0045
ながの村まで

茄子の漬物
茄子を美しい紫色に漬ける秘訣はミョウバンを少々入れて漬け込むときれいに仕上がります。(古クギを入れても良い。)

ミョウガの漬物
塩漬けをして水気を切り、梅酢の中(シソを漬け込んだ)に漬けます。

夏のイベント情報

◆【第14回】
下帝釈峽溪谷コンサート
日時:7月20日(日)
午前10時より開催
ゲスト:津軽三味線
川本高虎さん
ながの村住民は入場無料!!
花面公園に集まれ~

◆ながの村夏まつり開催!!
8月14日(木) 午後7時30分より